

平成26年6月

鹿児島港（新港区）改修工事に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、平成22年度に検討された工事に引き続き実施される予定の、平成26年度以降の工事に伴う航行船舶並びに工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。

今回の検討対象工事は、岸壁改修（－7.5m、－4.5m）工事及び泊地浚渫（－6m、－9m）等の工事であるが、前回の検討対象工事と同様、フェリー等の入出港操船水域や係留船の投錨水域と工事作業海域が競合することから、入出港船舶及び工事作業船の安全を確保するため、提示された施工計画及び各岸壁の利用実態等を調査のうえ、入出港船舶の操船水域等と各工事作業において必要な水域の競合関係等を整理して安全性の検討を行った。

特に－9m泊地浚渫工事は、ほぼ同港内の泊地全域及び航路の一部での施工となることから、入出港船舶の操船水域等を確実に確保することを前提として、航路内における行き会い調整、工事作業船の一時退避、土運船の運航経路と管理、警戒管理等について詳細に検討した。

これらの安全対策の実効を期するためには入出港船舶の動静把握が必要不可欠となることから、現在実施されている関連情報の収集・管理・提供体制を引き続き執ることを提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 第3ステージ施工計画
- (3) 基礎検討
- (4) 第3ステージ（その1）に係る検討
- (5) 第3ステージ（その2）に係る検討